

# 神戸旧居留地

Night view guideline

旧居留地連絡協議会



# 夜間景観 ガイドライン

## 神戸旧居留地／夜間景観ガイドライン

---

### ～個性ある提案の融合をめざして～

明治初年の開港以来、神戸の中核業務地として発展してきた旧居留地は、近年では商業地としての性格も強め、それに伴って夜間の人通りも格段に増えてきました。そして今では、各ビル、各店舗からこぼれる光によって、昼間にも劣らない旧居留地らしい落ち着いた雰囲気醸成を醸しだしています。

本ガイドラインは、このような旧居留地の良好な夜間景観をいつまでも維持し、一層高質化するために、旧居留地連絡協議会が地区内外の関係各位に広く提案するもので、夜間景観についての考え方を以下の2つの項目で整理しています。これまで、当会都心づくり委員会が中心となって、夜間景観の現状調査や研修そしてたび重なる議論を続けてきましたが、現段階での会員共通認識の総括です。

#### 本ガイドラインの構成

##### ① 旧居留地が目指す夜間景観

多様な機能が複合する旧居留地の夜間景観について、望ましいと考える空間像を提示しています。

##### ② 理想像を形づくる上での個々の建物や店舗の役割

旧居留地が目指す夜間景観を維持・発展させる上で、個々が果たすべき役割について、視点別に事例を紹介しています。

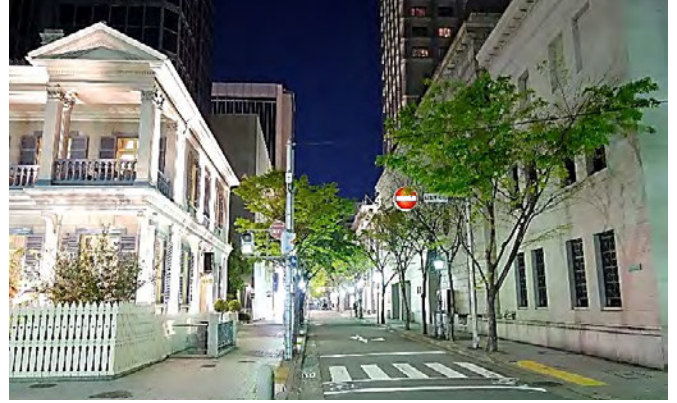
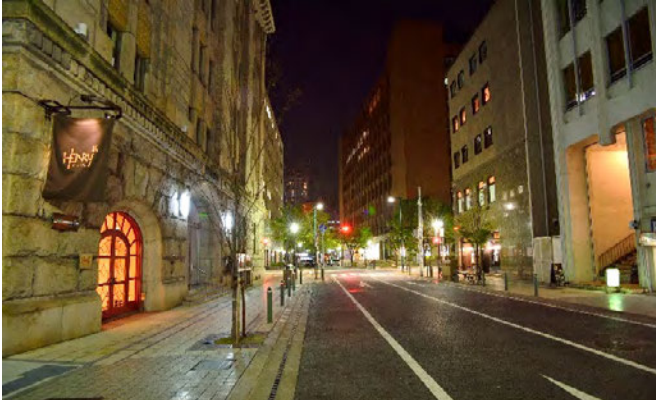
具体的な対応策については個々の自主性が尊重されるべきであると考えます。全てのビルや店舗が個性的で優れたものであってこそ、豊かな街並みの形成も可能です。しかしこのとき、通りやエリアがもつ特性に配慮し、街並み全体としての融合という視点も重要です。

## ◆ 旧居留地が目指す夜間景観

～“光”と“影”による、夜の街並みの演出～

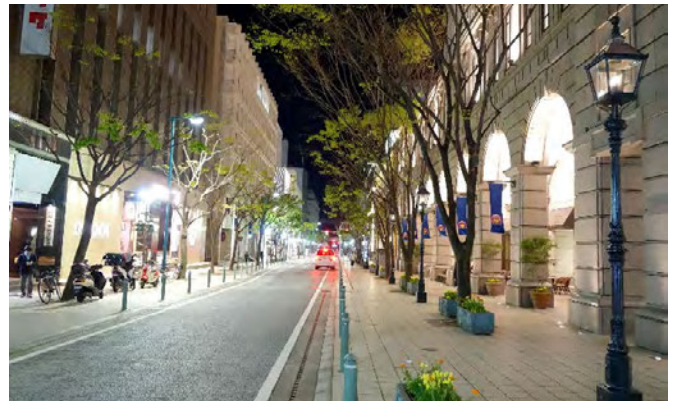
多様な性格をもった“通り”や“エリア”。各々の特性を各ビルがもりたて、それらの個性が融合して豊かな夜間景観を紡ぎだす、そんな姿が理想です。

### ◆ 風格を醸し出す



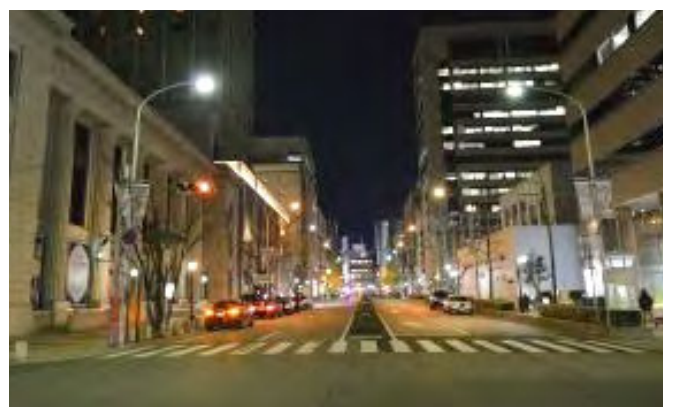
開港以来の歴史に裏打ちされた街並み。この風格をいつまでも育み続けたいものです。

### ◆ 賑わいを演出する



大人の街のアフターファイブ。店舗からこぼれる明かりが落ち着いた賑わいを演出します。

### ◆ 街のまとまりや組み立てを表現する



旧居留地では歩行者主体のまちづくりを目指しており、街並み形成にあたっては人の視線を大切にしています。ただ広幅員の道路沿いでは、街の構成をわかりやすくするために、車からの視線にも配慮したいものです。

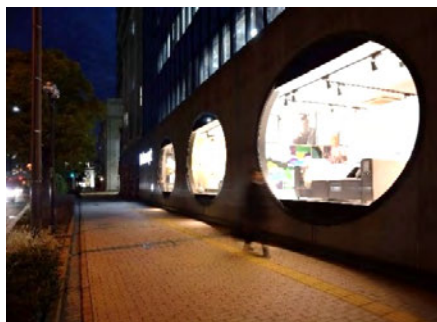
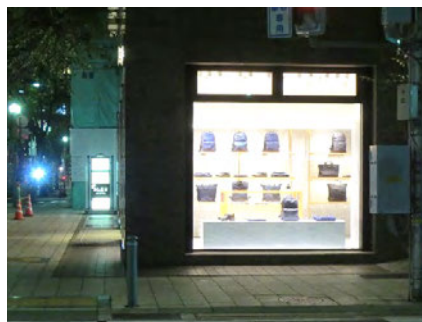
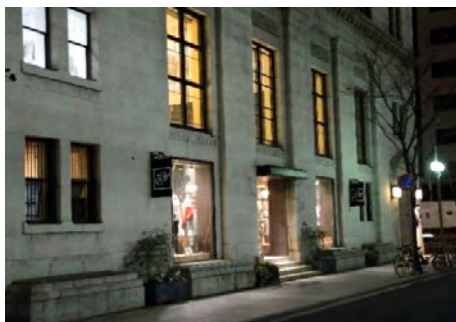
このような旧居留地が目指す夜間景観の理想像を維持・強化するために、通りやエリアの特性に応じて個々が果たすべきであると考えた役割を、次ページ以降に整理しました。



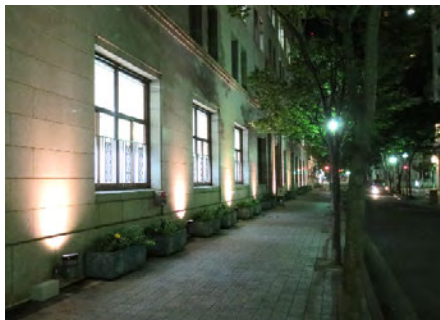
## こぼれる光で街並みを紡ぐ

通りを照らすのではなく、  
まちの様々な営みからこぼれ出る光が旧居留地の夜には似合います。

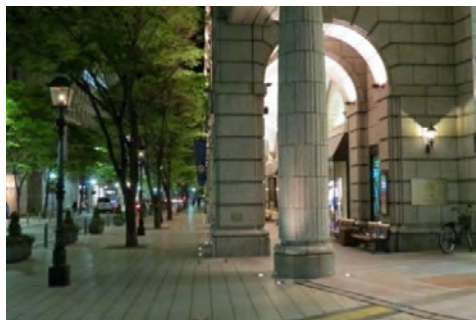
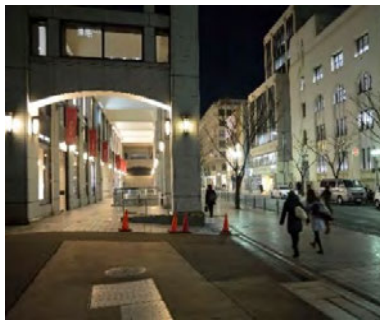
### ◇店舗の明かりを街にこぼす



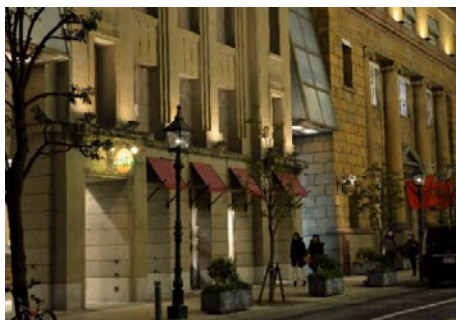
### ◇オフィスの明かりを街にこぼす



### ◇ピロティの明かりを街にこぼす



### ◇建物を照らす明かりを街にこぼす





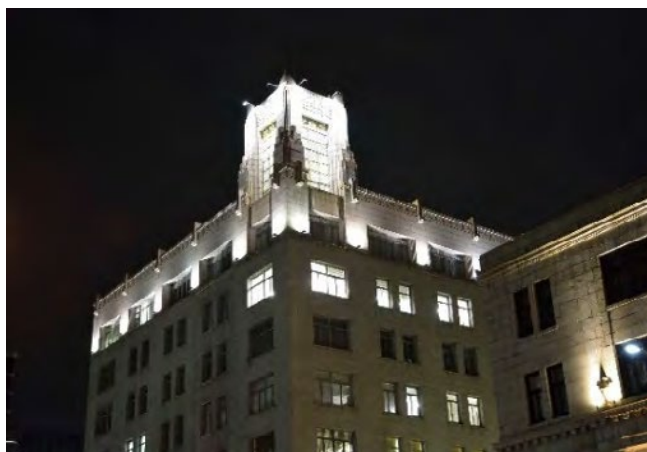
## ランドマークを照らし、街角を特徴づける

対象によっては目立たせ、夜のランドマークとなる仕掛けも必要です。

### ◇ランドマーク建物を照らし、まちに陰影をつける



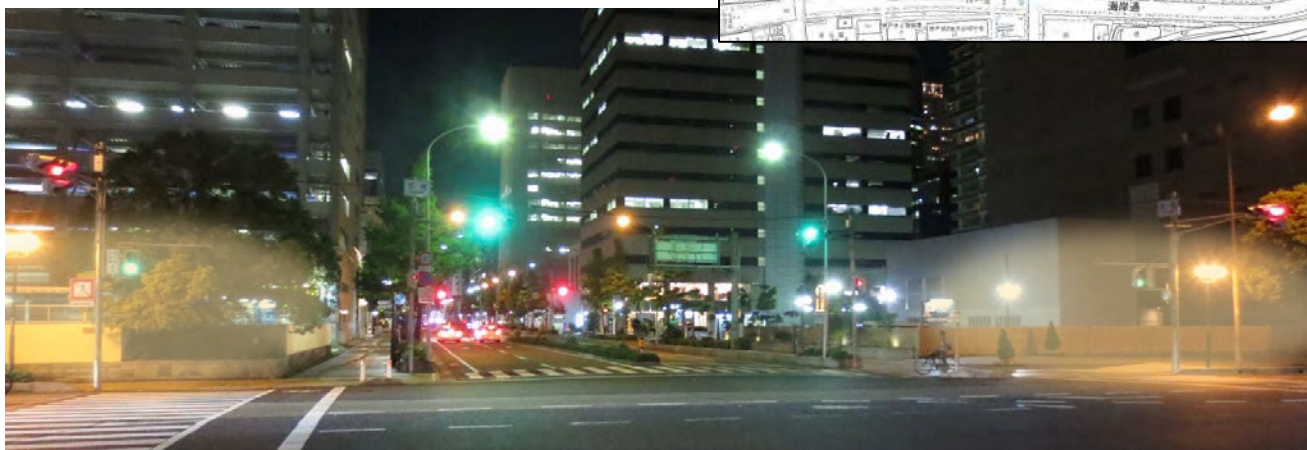
### ◇ランドマーク建物の頂部を照らす



(開放型広場の設置箇所は地区計画でも位置づけられています)



### ◇主要な街角を夜も健在化させる

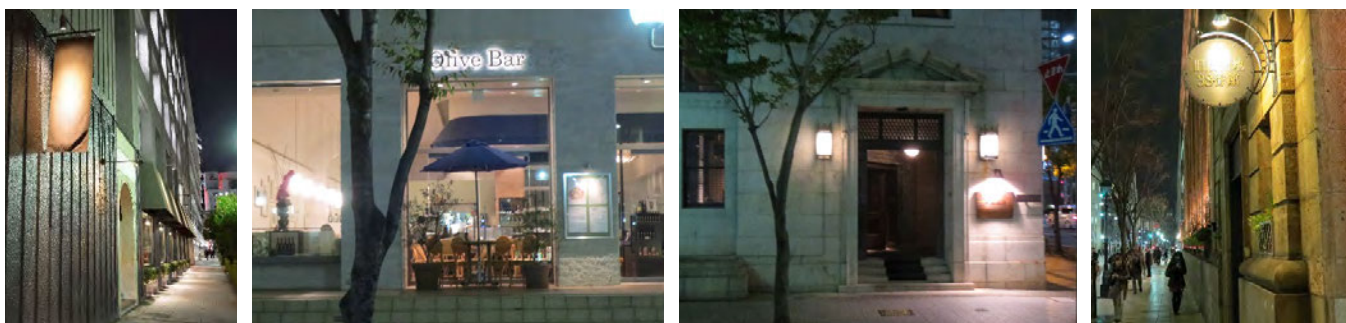




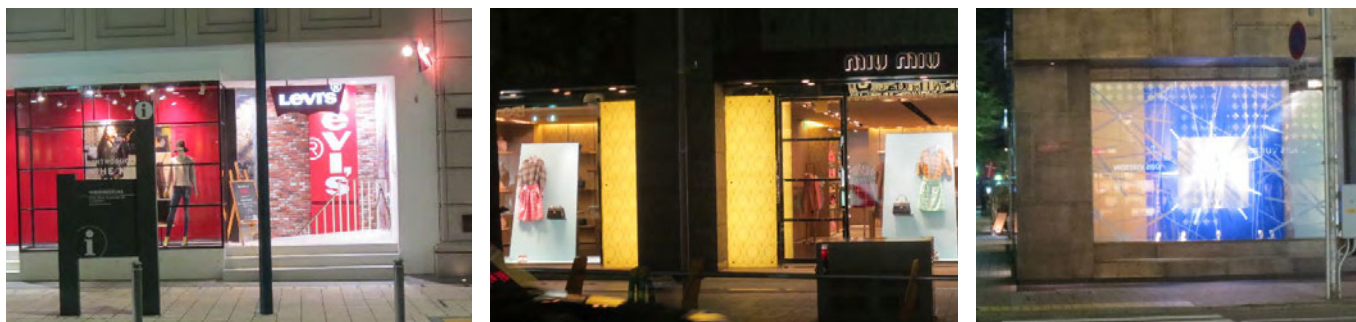
## 風格あるにぎわいを演出する

各企業の個性が互いに主張しあい、旧居留地の風格と賑わいを一層高める、そのような夜の街並み形成が理想です。

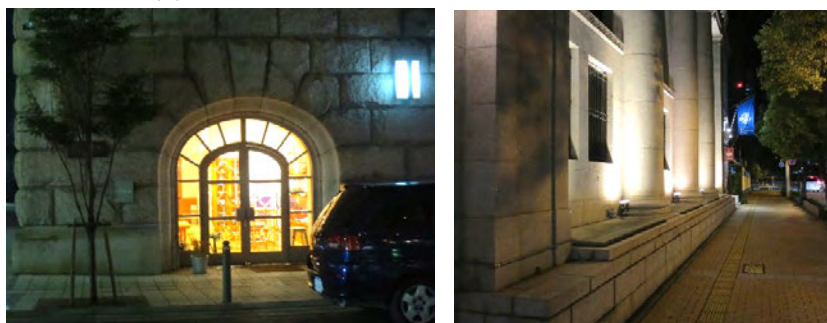
### ◇街に“落ち着”きを提供する



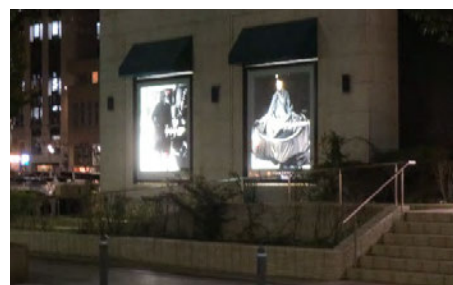
### ◇街に“煌びやかさ”を提供する



### ◇“影”で演出する



場所の特性によっては、  
◇街並みに“光”を提供する



### ◇“外構”で演出する

